

2022年11月28日

## ロボット支援下胃切除術を受けられた患者様へ

### 「ロボット支援下噴門側胃切除術の定型化に向けた取り組みに関する研究」 への協力をお願い

当院外科では、過去に下記のような治療を受けた患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### ① 研究の対象

2019年12月1日から2022年11月30日までの期間で胃癌に対し、ロボット支援下噴門側胃切除術を受けられた患者様。

#### ② 研究の期間

2022年11月28日～2023年12月31日

#### ③ 研究の目的

当院では胃がんに対してロボット支援下胃切除術を積極的に行っておりますが、腹腔鏡手術に比べ手術の歴史が浅く、手術の定型化が全国的にまだなされていない現状です。特に噴門側胃切除術は実施施設も限られており、まだまだ工夫の余地がある術式と考えられます。今回、当院でのロボット支援下噴門側胃切除術の定型化に向けた取り組みの効果を手術成績とともに明らかにすることで、今後の全国的なロボット支援下噴門側胃切除術の普及と安全性向上に寄与したいと考えています。

#### ④ 研究の方法

2019年12月1日から2022年11月30日までの期間で胃癌に対してロボット支援下噴門側胃切除術を受けられた患者様の既存の情報をを用いた後方視的検討です。電子カルテ情報をもとに以下の情報を抽出し、手術成績につき検討します。患者様の年齢、性別、全身状態（体型や栄養状態など）、併存疾患、胃癌の進行度、画像情報（解剖学的異常の有無）、術前・術後の採血結果（白血球数、CRP値、ドレーンAMY値、腫瘍マーカーなど）、施行術式、手術に使用した器具、手術時間、コンソール時間、再建時間、出血量、周術期合併症、在院日数、病理検査結果など

#### ⑤ 研究責任者

山口 和也 所属 中部国際医療センター 外科

#### ⑥ 指導研究者

同上

## 研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

## 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

## 連絡先

中部国際医療センター 外科

電話番号 0575-66-1100 (内線 7779)

責任者氏名：山口 和也